第14回北条ブロック人権教育研究大会

「自分自身の偏見に気付き、身近なことから変えていこう」をテーマに、差別のない住みよいまちづくりに取り組む人権・同和教育を目指した研究大会を開催します。

【日時】 8月25日㈯8時30分～受け付け開始▶①分科会＝9時～10時20分▶②全体会10時40分～12時10分
【会場】 聖カタリナ大学（北条）
【内容】 ①下表のとおり②一万人の一人芝居座長・宮内則人さんによる人権啓発劇「明日へ！」
【対象・定員】 市内在住の人。700人（先着順）
※分科会は「整理券」が必要

分科会	内　容	提言者など
第1	ワークショップ	NPO法人リバティー松山 前田俊彦さん
第2	人権教育に学ぶ高齢者	松尾高齢クラブ　竹島洋二さん
第3	障がい者の人権 -大人の発達障がい-	Asanami Work Camp（アサナミ ワーク キャンプ） 河野伸司さん
第4	思いやりの心を育む保育を目指して	慈童保育園　片岡千絵さん
第5	人権委員会の取り組み ～気付き、考え、行動できる人になるために～	北条高等学校　向井明子さん
第6	小学校における人権教育の取り組み	浅海小学校　宮脇克彦さん
第7	私の身近な人権問題	粟井小学校PTA　灘野順子さん
第8	私と同和問題	難波公民館　池内和美さん

※駐車場は混み合いますので、できるだけ乗り合わせてご来場ください

問北条ふれあいセンター☎・FAX993-2036

ボランティアガイドのための語学講座

【日時】 10月中旬から翌年3月中旬
【会場】 コムズ（三番町六丁目）
【対象】 市内在住または通勤・通学していて、受講希望言語ですでに日常会話ができ、ボランティア活動に参加可能な人
【内容・定員・料金】 下表のとおり
【申し込み】 9月15日㈯（当日消印有効）。往復はがきに希望する講座名（1講座につき1人1枚）、郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、電話番号、年齢、職業を〒790-0003三番町六丁目4-20まつやま国際交流センターへ

講座名	曜日 / 時間	定員	回数	受講料（実習費を含む）	内　容
Welcome to Matsuyama（英語ボランティアガイド養成教室平日コース）	木曜日	60人	15回	3,000円	コミュニケーション力を高め、ボランティアガイドを目指す（現地実習あり）
	10：00～11：30				
Welcome to Matsuyama（英語ボランティアガイト養成教室週末集中コース）	土曜日	30人	6回	1,200円	椿神社を学習（現地実習あり〈11/3～12/8の毎週土曜日、現地実習は12/8〉）
	10：00～11：30				
オソオセヨ　松山（ハングルボランティアガイド養成教室）	木曜日	30人	13回	2,500円	コミュニケーション力を高め、ボランティアガイドを目指す（現地実習あり）
	18：30～20：00				
歓迎到（ファンイン タオ）松山（中国語ボランティアガイド養成教室）	水曜日	30人	13回	2,500円	コミュニケーション力を高め、ボランティアガイドを目指す（現地実習あり）
	18：30～20：00				

※実習先によっては交通費などの実費がかかる場合あり。詳細は、まつやま国際交流センターホームページを確認HP https://www.mic.ehime.jp/index.html

問まつやま国際交流センター☎943-2025・FAX931-2041

プロテイン・アイランド・松山2018
一般向け体験セミナー参加者募集

9月28㈮締め切り

高校「生物」の教科書にも掲載されている、愛媛・松山発の最先端のタンパク質研究を中学・高校生や一般の人に、より身近に感じてもらう『プロテイン・アイランド・松山2018』一般向け体験セミナーを開催します。今年は実験に加え、タンパク質の面白い仕組みを楽しく学ぶことができるクイズ&ディスカッションを新たに行います。

【日時】 10月20日㈯13時～16時30分
【会場】 市役所本館11階大会議室
【内容】 試験管の中でのタンパク質作りや、電気泳動を用いてDNAを分析する実験、タンパク質研究についてのクイズ＆ディスカッション
【対象】 実験や講演に興味がある人（中学・高校生優先）
【定員】 150人（抽選。うち実験100人）
【申し込み】 9月28日㈮までにファクスで申込書（市ホームページにあり）を地域経済課またはプロテイン・アイランド・松山申し込みフォームHP http://www.pim-sympo.jp/public_seminar/へ

問地域経済課☎948-6714・FAX934-1844

母子保健推進員として活動してみませんか
母子保健推進員養成講座

【日程・内容】 右表のとおり。13時30分～15時30分（6、7回のみ13時～）
【会場】 市保健所・消防合同庁舎（萱町六丁目）6階中会議室
【対象】 本市に住民登録のある子育て支援に関心があり、受講後、母子保健推進員として活動（幼児健診への協力、こんにちは赤ちゃん訪問など）ができ、全日程受講できる65歳未満の人
【定員】 30人程度（先着順）
【申し込み】 8月20日㈪から電話で健康づくり推進課へ

回	日　程	内　容
1	10/10㈬	母子保健推進員の活動について 妊産婦と新生児への支援、座談会
2	10/17㈬	乳児期の離乳食と幼児の食事 乳幼児期に必要な予防接種
3	10/25㈭	乳幼児期の歯の手入れ 市の母子保健事業について
4	10/31㈬	地域で虐待を予防するために今できること
5	11/12㈪	子どもとの関わり方とコミュニケーション、座談会『今後の活動』
6	平成31年1/31㈭	こんにちは赤ちゃん訪問の概要
7	2/6㈬	こんにちは赤ちゃん訪問の実際

問健康づくり推進課☎911-1821・FAX925-0230

木造住宅の耐震診断・耐震改修事業のご案内

耐震診断は、「補助制度」または「派遣制度」のどちらかを選択できます。また、耐震改修は改修費用のうち、最大114万円補助をします。

【対象となる木造住宅】 ①昭和56年5月31日以前に着工された1戸建ての木造住宅（枠組壁工法〈2×4工法など〉、丸太組構法、大臣などの特別な認定を得た工法のものは対象外）②階数が2階以下で、延べ床面積が500平方㍍以下のもの③次の用途の住宅▶専用住宅（共同住宅および長屋住宅は対象外）▶併用住宅（延べ床面積の過半の部分が、住宅の用途に供されているもの）
※市の補助金を利用して耐震改修工事を実施すると、所得税の控除および固定資産税の減免を受けられる場合があります。詳細はご相談ください
【耐震診断】 補助制度＝最大4万円補助▶派遣制度＝3,000円または9,720円の自己負担
【耐震改修】 改修費用のうち、最大114万円補助
※耐震診断・耐震改修は登録業者が実施する必要があります
【受付期間など】 平成31年1月31日㈭までに、建築指導課（市役所本館9階）へ（先着順。予算がなくなり次第終了）
※詳細は市ホームページを確認

二次元コード

災害から人命・財産を守ろう
8月30日㈭～9月5日㈬「建築物防災週間」

全国一斉に「建築物防災週間」が行われます。本市では、各種災害から建築物の安全を確保し人命や財産を守るために、多くの人が利用するホテル・病院などの特殊建築物について防災査察や巡回指導を行い、耐震性の向上や防災対策などの普及、啓発を図ります。

問建築指導課☎948-6512・FAX934-0640

平成30年上半期（1月～6月）火災・救急統計

火災件数61件（前年比21件減）

【出火原因件数】 「こんろ」が10件（16・4パーセント）、「放火の疑い」が8件（13・1パーセント）、「たばこ」・「たき火」・「放火」が各5件（8・2パーセント）の順となり、この5種で全体の54・1パーセントを占めます。
【火災による死傷者】 死者は5人（前年比1人増）、負傷者は14人（同5人減）です。
【火災予防対策】 ちょっとした不注意で火災は起こります。こんろのそばを離れる時は火を消すこと、たばこの後始末を徹底すること、空気の乾燥や強風時のたき火は控えることを特に注意してください。また、放火を防ぐために家の周りに燃えやすいものを置かないことが大切です。

救急出場1万2881件（前年比461件増）

搬送人員は、1万1970人（前年比442人増）で、一日平均71・2件、20分14秒に1回の割合で救急隊が出場し、約43人に一人が搬送されたことになります。
【事故種別】 「急病」が7996件、「一般負傷」が1738件、「転院搬送」が1429件、「交通事故」が1178件の順となり、この種別だけで全体の約96パーセントを占めています。

救急出場件数は、平成20年から継続的に増加し、入院の必要のない軽症者の利用も増加していいます。緊急を要する人のために、救急車の適正な利用をお願いします。

※統計の詳細は、市ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください

問火災＝㈶予防課☎926-9247・FAX926-9163、救急＝㈶警防課☎926-9227・FAX926-9188